

農作業事故注意報

刈払機・チェーンソー編

刈払機・チェーンソーの事故に 注意しよう！

農作業中の負傷事故が発生しています。

○草刈り後、刈払機のエンジンを切り、車輛に積載作業中に、刃が完全に停止せず回転していたため、左手首に接触し、裂傷を負った。

ほ場の草刈りや、樹園地の雑木伐採作業などで、刈払機やチェーンソーを使用する際は、足元や周辺環境の確認や、機械の取扱いに十分注意し、事故の防止につとめましょう。



ほかの作業場所に移動するときには、周囲の安全を確認し、エンジンや電源を切る等、刈刃が回転しない状態にしてから移動しましょう。

刈払機事故の4つの特徴

1 斜面・法面での不安定な姿勢による事故(29.5%)

- 傾斜地・法面は滑りやすい
- ⇒ 小段の設置、スパイク靴の着用

2 回転刃による事故(接触、飛散物)(29.5%)

- キックバックや小石、チップの飛散
- ⇒ 防護具の徹底、飛散物カバーを外さない

3 詰まりなどの除去時の事故(18.2%)

- 回転を止めず、草の詰まりなどを除こうとして
- ⇒ 確実にエンジンを切ってから

4 周辺環境に起因する事故(15.9%)

- 草むらの中に潜む杭や空き缶など
- ⇒ 慣れた場所でも事前確認

安全対策のポイント

ポイント①

- ・傾斜面・法面に小段の設置
- ・スパイク靴の着用



ポイント②

防護具の着用を徹底



ポイント③

詰まり除去時や刈払機を置く時
エンジン停止！



ポイント④

草むらに潜む構造物(穴・溜桧)や
切り株、大きな石、空き缶などを、
まず点検